

2024年2月28日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

変額保険（有期型）を発売

～ 人生 100 年。変化する時代に豊かな未来を育む ～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、2024年3月1日に、一定期間の死亡・高度障害状態に備えながら、将来の資産形成を行うことができる「変額保険（有期型）」を発売します。



人生 100 年時代において、リタイア後も長く続く生活に備えるため、必要な資金確保への不安やニーズはますます高まっています。お客さまのライフスタイルの多様化に伴い、生命保険を含む金融商品に対するニーズにお応えすべく、「変額保険（有期型）」を提供して商品ラインアップのさらなる充実を図ります。

「変額保険（有期型）」は、各種資産へ長期・分散投資することにより、物価上昇などマーケット環境の変化に柔軟に対応しながら資産形成を目指すことができる商品です。

【商品の特徴】

一定期間の死亡・高度障害に備えながら、資産形成が期待できる円建の保険です。

特徴 1	✓ 保険期間満了時に、特別勘定 ^{*1} の運用実績に応じた満期保険金（＝積立金） ^{*2} を受取れます。 ✓ 7つの特別勘定（株式型、債券型、REIT型、バランス型）の中から、保険料の繰入割合を1%単位で自由に組み合わせ可能です。
特徴 2	✓ 保険期間中に死亡もしくは高度障害状態になられたときは、死亡保険金または高度障害保険金を受取れます。
特徴 3	✓ 所定の状態 ^{*3} になられた場合、その後の保険料のお払込みは不要です。

*1 運用実績に応じて保険金額や解約返戻金額等が変動する保険の資産の管理・運用を行う勘定。他の保険種類の資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。その損益（投資リスク）はすべて契約者および受取人に帰属します。

*2 満期保険金に最低保証はありません。

*3 不慮の事故による所定の身体障がいをサポートするシンプルな「保険料払込免除ベーシック（I型）」と、がん、急性心筋梗塞、脳卒中により所定の事由に該当された場合や要介護2以上、障害等級1・2級の該当など、就業不能な障がい状態や要介護状態もサポートする「保険料払込免除ワイド（II型）」を契約時に選択いただけます。

当社は、これからも一人ひとりのお客さまに生命保険の真価を正しく伝え、真に役立つ生命保険を提供し、保険金を支払うまで誠実に生命保険サービスを続けることで、全国津々浦々のお客さまとご家族に経済的な保障と心の平和をお届けしてまいります。

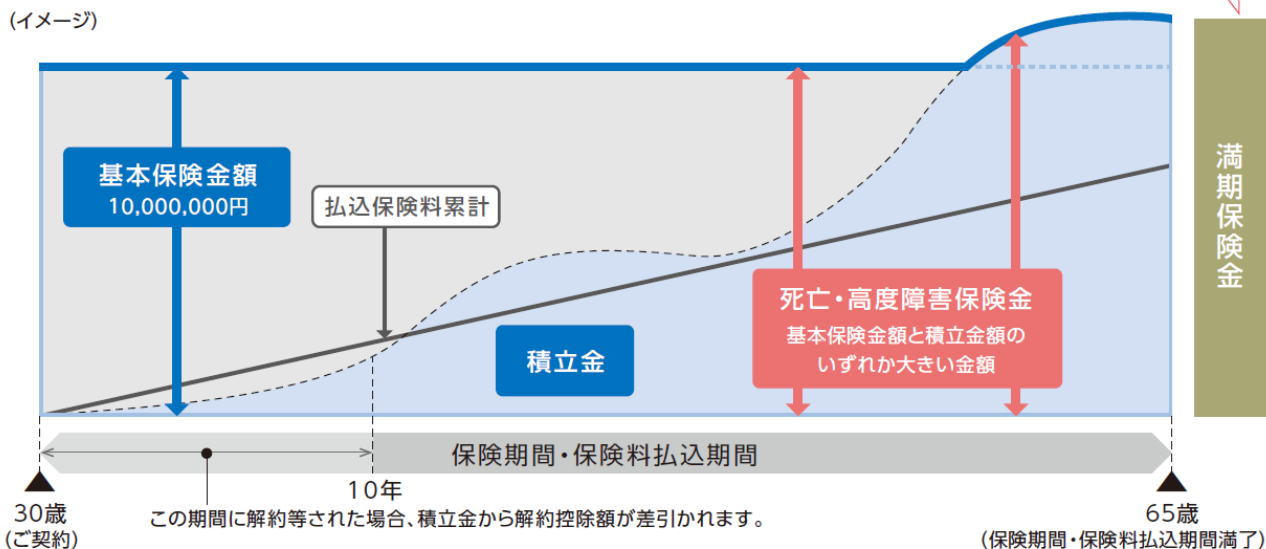
【商品イメージ】

ご契約例

- 契約年齢(被保険者)：30歳(女性)
- 保険期間・保険料払込期間：65歳まで
- 基本保険金額：10,000,000円
- 月払保険料(口座振替扱)： **保険料払込免除ベシツク** 17,230円 **保険料払込免除ワイド** 18,260円

■ 満了時に積立金が基本保険金額を上回った場合

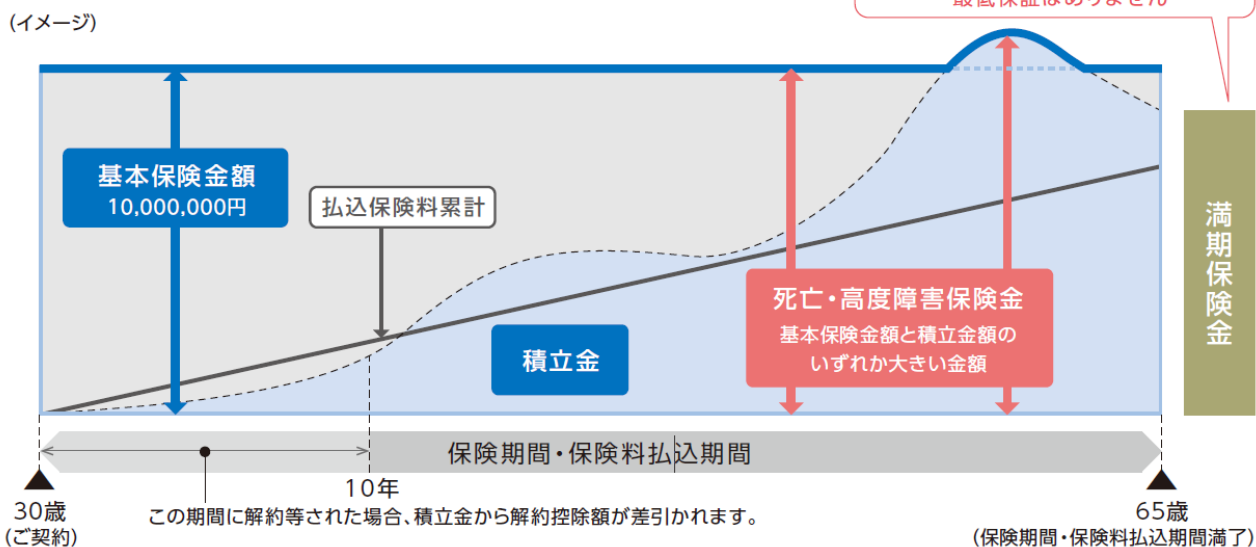
(イメージ)



※死亡保険金・高度障害保険金・満期保険金は、いずれかのお受取りになります。

■ 満了時に積立金が基本保険金額を下回った場合

(イメージ)



【特別勘定について】

特別勘定は、主として国内外の株式・債券等を対象とする投資信託を利用して運営されており、つぎの7種類の特別勘定から運用対象をご選択いただけます。(2024年3月1日現在)

型名	特別勘定名	ベンチマーク	資産運用会社	運用方針
株式型	①日本株式 Index ファンド	TOPIX (東証株価指数) (配当込み)	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所等に上場している株式を中心に投資します。株式への実質投資割合は、原則として高位を維持することを基本とします。TOPIX (東証株価指数) (配当込み) に連動する投資成果を目指して運用します。
	②米国株式 Index ファンド	S&P500 指数 (配当込み、円換算ベース)	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	S&P500 指数 (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果を目指す投資信託に投資し、主として米国の株式を中心に投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
	③世界株式 Index ファンド	MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース)	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果を目指す投資信託に投資し、主として日本を除く世界各国の株式に投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
債券型	④日本債券 Index ファンド	NOMURA-BPI 総合	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	NOMURA-BPI 総合に連動する投資成果を目指す投資信託に投資し、主としてわが国の公社債を中心に投資を行います。
	⑤世界債券 Index ファンド	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) に連動する投資成果を目指す投資信託に投資し、主として日本を除く世界主要国の公社債投資に実質的な投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
REIT 型	⑥世界 REIT Index ファンド	S&P 先進国 REIT インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース)	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	S&P 先進国 REIT インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果を目指す投資信託に投資し、主として日本を除く先進国の不動産投資信託証券 (リート) に実質的な投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
バランス型	⑦バランスファンド	TOPIX (東証株価指数) (配当込み)、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース)、NOMURA-BPI 総合および FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) の各対象インデックスを 25% ずつ組合わせた合成ベンチマーク	三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社	TOPIX (東証株価指数) (配当込み)、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース)、NOMURA-BPI 総合および FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) の各対象インデックスを 25% ずつ組合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

【この保険のリスクについて】

この保険の特別勘定は、日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券等で運用されますので、主につぎのようなリスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落、為替変動等により満期保険金、解約返戻金等のお受取りになる金額の合計額がお払込みいただいた保険料総額を大幅に下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。この保険にかかるリスクは契約者および受取人に帰属します。

※死亡・高度障害保険金は基本保険金額を最低保証します。

●元本割れのリスク

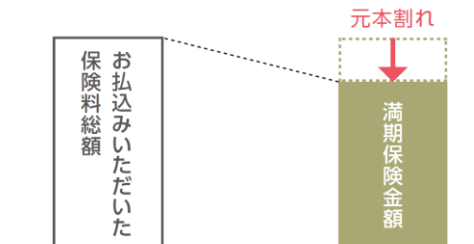
この保険には、元本保証はありません。
特別勘定の運用実績により、つぎの金額^(*)がお払込みいただいた保険料総額を下回り、
損失が生じるおそれがあります。

- ① 積立金の合計額
- ② 満期保険金額
- ③ 解約返戻金額

(*)減額した場合、
「減額時の解約返戻金額+減額後の満期保険金額等」

(イメージ)

特別勘定の運用実績が不調の場合



●投資リスク

リスク	リスクの詳細
価格変動リスク	価格変動リスクとは、株式の価格変動・公社債の価格変動・不動産投資信託証券の価格変動や収益の増減により、価格が下落するリスクをいいます。
為替変動リスク	為替変動リスクとは、組入れた外貨建資産の価格が各通貨間の為替レートの変動により下落するリスクをいいます。
信用リスク	信用リスクとは、有価証券等の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、有価証券等の価格が下落すること、または利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなる(債務不履行)リスクをいいます。
流動性リスク	流動性リスクとは、市場における有価証券等の売買量の欠如等の理由により、最適な時期で有価証券等の売買ができず、機会損失を被るリスクをいいます。
カントリーリスク	カントリーリスクとは、投資国となっている国の政治・経済・社会・国際関係等が不安定な状態あるいは混乱した状態等に陥ることで、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなるリスクをいいます。
資産配分リスク	複数資産への投資(資産配分)を行った場合で、投資成果の悪い資産への配分が大きかったために、投資全体の成果が悪くなってしまうリスクをいいます。

【諸費用について】

この保険でご負担いただく諸費用は、以下のとおりです。

● 保険関係費用

保険料のお払込時および保険期間中に保険関係費用をご負担いただきます。

項目	ご負担いただく費用
① 保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用	特別勘定に繰入れる際に保険料から控除します。
② 保険料払込免除に関する費用	<ul style="list-style-type: none">・ 保険料払込免除ベーシック：特別勘定に繰入れる際に保険料に対して0.2%をその保険料から控除します。・ 保険料払込免除ワイド：特別勘定に繰入れる際に保険料払込免除に関する費用を保険料から控除します。
③ 特別勘定の管理に必要な費用	毎日、積立金額に対して年率0.50%を積立金から控除します。
④ 基本保険金額保証に関する費用	毎日、積立金額に対して年率0.25%を積立金から控除します。
⑤ 死亡保障などに必要な費用	契約日および月単位の契約応当日が到来するごとに、その日の始めに積立金から控除します。

※上記①、②の **保険料払込免除ワイド** および⑤の費用は、被保険者の年齢・性別などによって異なります。また、上記⑤の費用は月単位の契約応当日の前日における積立金額や月単位の契約応当日における被保険者の年齢などによって計算されるため、保険契約締結後も変動します。そのため、上記①、②の **保険料払込免除ワイド** および⑤の費用を具体的な金額や割合で一律に表示することはできません。

● 運用関係費用

特別勘定での運用期間中、毎日、投資信託の純資産額に対して以下の信託報酬(費用)をご負担いただきます。

特別勘定の種類		信託報酬(費用)(税抜)
株式型	日本株式 Indexファンド	年率0.039%
	米国株式 Indexファンド	年率0.065%
	世界株式 Indexファンド	年率0.065%
債券型	日本債券 Indexファンド	年率0.130%
	世界債券 Indexファンド	年率0.065%
REIT型	世界REIT Indexファンド	年率0.130%
バランス型	バランスファンド	年率0.130%

※ 運用関係費用は信託報酬(費用)のほか、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって異なるため、費用の発生前に金額や計算方法を一律に表示することはできません。

● 解約控除

解約時、減額時および払済変額保険(有期型)、一時払定額養老保険への変更時にかかる費用をご負担いただきます。

項目	ご負担いただく費用
解約控除	契約日から10年未満に以下のお取扱いがあった場合、基本保険金額またはその減額分に対し保険料払込年月数により計算した額を、計算基準日の前日末の積立金額から控除します。 <ul style="list-style-type: none">・解約・基本保険金額の減額・払済変額保険(有期型)への変更・一時払定額養老保険への変更

※解約控除額は基本保険金額・契約年齢・性別・保険料払込年月数などによって異なるため、具体的な金額を一律に表示することはできません。

※払済変額保険(有期型)、一時払定額養老保険への変更は、2024年10月からお取扱いを開始します。

●積立金移転費用

1保険年度^(※1)に12回をこえる積立金の移転を行った場合、積立金移転費用をご負担いただきます。

項目	ご負担いただく費用
積立金移転費用	1保険年度12回までの移転(スイッチング)は無料です。1保険年度13回目からは1回につき1,000円を積立金移転時に積立金額から控除します。

(※1)契約(応当)日から次の契約応当日の前日までの期間です。